

五つの挑戦

いま、三田のために何ができるか

一、議会・行政改革 増税の前にやるべきことがある！

1. 市民目線で税金のムダを排除

- ・県財政の深刻な状況に応じて、議員・知事の報酬と知事など特別職の退職金のカットを提案します。
- ・公共工事の入札予定価格・落札率・随意契約を個別にチェックして、不適切な公共工事を阻止します。

2. 議会・行政の質向上

- ・議員の能力向上を図ります。行政のプロと予算・条例を議論する際に経済・法律知識は不可欠です。
- ・委員会の傍聴制度や夜間議会の開催、傍聴者への資料配付を提案し、県民が参加しやすい工夫をします。
- ・公務員にも努力が報われる評価制を導入し、人件費の適正配分と更に高質な行政サービスを目指します。

二、産業・農業の支援と雇用の創出 独自の工夫で不景気から脱却する

1. 第二テクノパークを含む地元企業支援と雇用創出

- ・地元企業と大学の共同研究や高校からのインターンシップ制度で、産官学の連携・地元雇用の創出を図ります。
- ・商店街活性化の為、起業家支援（低利融資等）や、学生向け店舗（カラオケ・飲食）の誘致を提案します。
- ・同一労働同一賃金制（交通費・賞与・手当のない非正規雇用の改善、短時間正規社員など）の推進を強く求めます。

2. 兵庫県の強みである充実した研究施設を活かし先端技術開発の奨励

- ・国内でも先駆けて知的財産権取得を奨励し、企業誘致や人材育成に結び付けます。
- ・神戸の最先端医療施設群と県中北部の温泉地・保養地とあわせてアジア No1 の先端医療地域化を目指します。

3. 農業の活性化と食の安心安全

- ・農家の組織的な連携（組合など）を強化・支援し、後継者の募集・育成や農産物の流通の効率化を図ります。
- ・地産地消促進の為、学校給食の地元農産物使用率の向上、飲食店での地産食材表示看板の設置を進めます。

三、シルバーが黄金より輝くまちへ 住み続けられる街づくり

- ・コミュニティバスを導入し、医療・介護・買い物難民を防止します。
- ・老人ホームの増設とあわせて在宅介護サービスの多様化、人材育成や労働環境改善を進めます。
- ・空き教室を高齢化で需要が増加するシルバーコミュニティ施設へ転用することを提案します。
シルバーコミュニティによる放課後教室など、多世代交流や子育て支援にもつながるアイデアを出します。

四、子育て支援と教育 子どもは三田のたからもの

- ・子育てしながら働ける環境作りのため待機児童ゼロを目指し、認定こども園など保育施設の充実を図ります。
- ・子どもの医療費無料化（三田では小学6年まで実施）の拡充と小児救急（夜間）の受入れ体制を整えます。
- ・新婚世帯、子育て世帯、若年世帯への家賃補助を提案します。
自然や公園も多く子育てに適した三田に若者世代を呼び込み持続可能な街づくりを目指します。
- ・世界に通用する人材の育成
英語・理系教育を強化するとともに、しっかりとした道德教育の実施に取り組みます。
少人数授業・少人数学級の導入や学校独自のカリキュラムを認め、個性を伸ばせる環境の整備を進めます。

五、お声を聴かせて下さい 大きな身体は皆さまの声を受け止めるためにあります

私のマニフェストは未完成です。

皆さんのお声を聴き、勉強をさせて頂くことによって、少しずつ完成に近づきます。

力を合わせて明日の県政、市政を作っていきましょう！